



地域の防災について考える

11/27



S DGs市民研究員の武田暢博^{のよひら}さんと九州大学法学部の学生グループが防災ワークショップを佐須奈地区で開催しました。住民アンケートの結果などを踏まえ、避難経路など、防災まちづくりについてグループ討議が行われました。

メリークリスマス!!

12/11



ク リスマスイベント（対馬市商工会青年部厳原支部主催）が対馬市交流センターで行われました。サンタに扮した青年部員がお菓子を配布。豪華賞品が当たるくじ引きも行われ、多くの子どもたちが、少し早いクリスマスを楽しみました。

考えよう相手の気持ち

12/12



じ んげんを考えるつどいin対馬（第16回）が、対馬市交流センターで開催されました。豆殿小・今里小・西小・豊小の児童による「人権の花運動」の活動が映像で紹介された他、雞知中3年の勝見愛那さん（写真左）と豊玉中3年の小田雪華さん（写真右）による人権作文発表が行われました。

大学生と未来を語る

12/16



理 系進路の魅力を伝え、将来の選択肢を広げることを目的とした授業が、久田中学校で行われました。佐賀大学ダイバーシティ推進室STEAM分野の女子学生6人が、生徒と交流を行い、進路についてアドバイスを行いました。

※STEAM分野：S:Science(科学)、T:Technology(技術)、E:Engineering(工学)、A:Arts(芸術)、M:Mathematics(数学)の略称

郷土芸術文化の向上をめざして

長崎県民の芸術鑑賞・参加機会の創出と美術活動を普及し、芸術文化の振興を図ることを目的とした「第66回長崎県美術展覧会（県展）」が開催され、写真部門において、橘幸太郎さん（写真左）が読売新聞西部本社賞および佐々町長賞を受賞、木寺道博さん（写真右）が入選に輝きました。





櫻と一緒につながる心

12月19日、比田勝港国際ターミナル前から巖原西の浜までの88.8kmを13人が櫻でつなぐ「第61回対馬縦断駅伝大会」が開催されました。団体の部では陸上自衛隊が36連覇、女子の部では美津島町が9連覇、町体協の部では上県町が大会新記録でそれぞれ優勝しました。主な結果は以下のとおりです。

- 【町体協】1位：上県町 2位：美津島町 3位：巖原町
 【団体】1位：陸上自衛隊 2位：消防本部 3位：航空自衛隊
 【女子】1位：美津島町 2位：巖原町 3位：豊玉町
 【躍進賞】男子の部：上県町 女子の部：なし
 (前年度の記録を最も短縮したチーム)



結果はこちら

(敬称略)

区 間	所 属	氏 名	記 録
1区 比田勝～佐須奈 10.4km	陸上自衛隊	中村 直幸	36分32秒
2区 佐須奈～佐護 7.6km	消防本部	西山 涼	26分03秒
3区 佐護～樫滝 9.8km	陸上自衛隊	横山 夏生	33分29秒
4区 樫滝～三根 12.0km	巖原町	武末 健志	39分23秒
5区 三根～白嶽神社前 2.5km	豊玉町	寺岡 涼奈	9分30秒
6区 白嶽神社前～吉田 2.1km	巖原町	平尾 小雪	7分31秒
7区 吉田～田 2.7km	上県町	糸瀬 陽菜	10分26秒
8区 田～長田 2.5km	美津島町	阿比留 未結	9分41秒
9区 長田～仁位 2.5km	美津島町	中庭 花凜	9分06秒
10区 仁位～浦底 6.0km	陸上自衛隊	小出 龍	21分25秒
11区 浦底～玉調 10.6km	陸上自衛隊	早田 太一	32分27秒
12区 玉調～雞知 8.7km	陸上自衛隊	黒川 城地	29分00秒
13区 雞知～巖原西の浜 11.4km	陸上自衛隊	茂 将臣	37分26秒

祝

白寿
おめでとうございます

99歳を迎えられた方々に市から褒状とお祝い金を贈呈し、長寿をお祝いしました。これからもお元気でお過ごしください。



主藤 ツルさん(巖原町)
大正11年11月26日生まれ

※ご本人様のご希望により写真は掲載しておりません。



糸瀬 静子さん(美津島町)
大正11年12月10日生まれ



第21回対馬少年の主張大会最優秀作品

あなたの周りに……

佐須奈中学校2年 **阿比留 凌**

あなたは一人で悩みを抱えこんでいませんか？
あなたの周りに一人で悩みを抱えこんでいる人はいませんか？

夏休みに祖母の家に泊まりに行っていた日のこと、祖母が畑仕事をしていて転んでしまい病院に行くと、足の靭帯損傷と診断を受けそれから毎日ギプスをつけての生活になりました。それからというもの私は、毎日家事に加え、お風呂に入れたり、ギプスを巻き換えたりなど、祖母の世話をすることになりました。夏休みの間の十日余りの期間、私はそれをほぼ毎日一人で行いました。

特に大変だったのがお風呂です。お風呂に入れる時はギプスがぬれないように上から袋を二重に重ねて隙間ができないようにし、一周グルッとテープで巻きます。お風呂から上がった後、その袋を取って次に包帯を取り、新しい包帯に巻き換えて、カバー用のタオルを上から巻き、テープで止めて、やっと終わりになり一息つきます。私はこの作業を毎日行い、二日に一回包帯を外して巻き換える前に足を洗ってあげました。イスに座らせ、洗面器に水をくみ、気をつけて洗うということは、かなり大変でした。

日頃の祖母は、スマホを使いこなしたり、畑仕事をしたりと、とても元気です。そんな祖母が動けなくなったこの夏。私は祖母のために一生懸命介護をしました。私は十日程度だったのであまりストレスを感じませんでしたが、これが長く続くとどれだけ辛く、大変か、よく分かりました。

祖母は、この怪我が治ってからよく「りょうのおかげで良くなったよ。」と言ってくれます。この言葉に私の方が元気をもらいます。大好きな家族なので本来はこうして、無理をしない範囲で助け合いたいものです。

そんなある日、テレビを見ていると、「ヤングケアラー」のことを目にしました。ヤングケアラーとは、学校や仕事のかたわら、障害や病気を持った家族の世話をしている十八才未満のことで、本来、子供のすべきではないことをしなければならない状況にあるようです。もちろんそうなったら勉強をしたり、友人と遊んだりすることも制限されてしまいます。当たり前が当たり前ではなくなってしまう日常、あなたは自分のこととして考えることができます

か？それに加え周囲の人との違いに気づき、学校にも行けなくなる。この悩みを誰にも打ち明けられずに病んでしまうことも多いそうです。

私は、このヤングケアラーについて知り、母が医療系の仕事に携わっているということもあり、将来医療系の仕事につきたいと考えるようになりました。医療系の仕事に就いたら、最善の医療を提供し、その家族が負担にならない介護ができるようにし、ヤングケアラーを減らしたり、自宅での介護をサポートしたりするなど、医療の現場で患者やその家族に寄りそった仕事ができる人になりたいです。

そして、出来ることなら対馬で働き、ふるさと対馬の地域医療を担っていきたくと思っています。私が今回学ぶことができたのは、「悩みを一人で抱えないこと。そのために私たち一人一人が悩みを抱えている人を支える。そして相談する勇気を持つこと。周りは、相談しやすい環境をつくること。」です。このことは、ヤングケアラー問題だけではなく、いじめ、誹謗中傷、SNSでの問題など様々な問題に共通して言えるのではないのでしょうか。一人で抱えて傷ついて、考えこんでしまう問題でも、誰かに相談することで解決につながると思います。いつ自分がこの立場になるかなんて誰も分かりません。その為、一人一人が自分のこととして身近に考えておかなければなりません。

あなたは一人で悩みを抱えこんでいませんか？

あなたの周りに一人で悩みを抱えこんでいる人はいませんか？もしそういう人がいたら助けられる準備はできていますか？

※原文のまま掲載

第21回対馬少年の主張大会結果

最優秀	阿比留 凌(佐須奈中2年)
優秀	陶山 心寧(久田中2年)
優良	小宮 碧(豊玉中2年)
入選	初村 一颯(佐須中2年)・立花 来和(厳原中2年)
	山川 桃子(雞知中2年)・小島 望愛(大船越中1年)
	須川 ひまり(仁田中2年)・八坂 瑞希(東部中2年)
	築城 夏蓮(比田勝中1年)・阿比留 萌(西部中2年)
	竹岡 美里(豆酸中2年)

(敬称略)